

警 察 署 協 議 会 会 議 録

行橋警察署協議会

開催年月日時	令和8年7月30日（木）午後4時00分から午後5時30分まで	
開催場所	行橋警察署大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下9名
	警察署	署長、副署長、総務課長、留置管理課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、交通課長、警備課長、総務第二係長
議 事 概 要		
【会長挨拶（要旨）】 各委員にあつては、議題に関する事項、その他質問・意見等あれば、忌憚なくこれまで同様に挙手の上、発言をお願いします。 【署長挨拶（要旨）】 本日の議事は、警備課長を講師とする災害対策講話及び令和8年上半期における管内治安概況についての解説を実施する。 なお、質疑応答の場合は、忌憚のない御意見・御要望をいただきたい。 【議事】 ○ 災害対策講話 ○ 令和8年上半期における管内治安概況 【質疑応答・委員意見等】 ○ 委員から「「みまもっち」では、不審者情報が「あんしんメール」として配信されているが、不審者情報がとても多いように思う。不審者情報では、同一人物によるものと思われるものが多々ある。そこで、不審者情報を認知した際の警察署の措置について教示願う。また、県内の不審者情報と「京築地区」を比較し、その特徴等あれば教示願う。」旨の質問がなされ、生活安全課長から「不審者情報を認知した際は、当事者から直接事情聴取を行い、当時の状況、行為者の人相・特徴等の把握に努めるとともに、付近の防犯カメラを調査し、あればその記録を確認するなどして行為者を特定する捜査を行っている。結果、行為者を検挙した場合は、その旨もメール発信している。次に、京築地区の不審者情報を県内全域と比較した場合も、概ね同種の情報が発信されている。管内の特徴を強いて言うと下半身露出事案が多い。なお、委員ご指		

議 事 概 要

摘のとおり、同一人物を疑う不審者情報もあるが、行為者を特定していない以上は別事案としてメール発信している。」旨回答した。

- 委員から「先程の管内治安概況で、特殊詐欺が多発していると理解した。そこで、管内で発生した被害額が多額の手口及びその対策等について、具体的に教示願う。」旨の質問がなされ、刑事課長から「当署における特殊詐欺被害額の約72パーセントを占め、かつ認知件数が最も多いのが「SNS型ロマンス詐欺」である。これらの対策では、「電話でお金の話は全て詐欺」と覚えていただくことである。合わせて「みまもっち」アプリを導入し、通知されるニセ電話詐欺情報を確認されたい。なお、ご家族、ご近所等にもお声掛けしていただき、是非「みまもっち」を広めていただくとともに、地域全体で自主防犯意識を高めていただくことが一番の対策と思われる。具体的手口については、去年の発生であるが、1事件の被害額が2600万円にもなったニセ警察官の手口を紹介する。

- ① 自宅の固定電話に警視庁警察官をかたる男から電話がある。
- ② ニセ警察官は、被害者の実名を挙げ「暴力団に関係する人物とあなたの氏名が同一です。このままでは、その男があなたの銀行口座から現金が引き出し、海外に逃亡する可能性が高い。」と被害者に告げた。

さらに、検察官をかたる男が電話を代わり、「このままでは、あなたも共犯者になるので、銀行から現金を下ろし紙幣番号を確認する必要があります。このことは絶対に口外しないこと。」などと被害者は告げられる。

- ③ 翌朝、再度検察官をかたる男から「銀行からお金を下ろしたら100万円ずつ封筒に入れて保管しておいてください。後日、貴方の自宅まで取りに伺います。お金は返ってくるので安心してください。」などと言われ、指示どおり約1か月に渡り、計38回、約2600万円を銀行で下ろし、犯人の指示に従い紙袋に入れ、自宅玄関前に置いていたところ、いつの間にか盗まれた。

というものである。」旨回答した。

【閉会】